



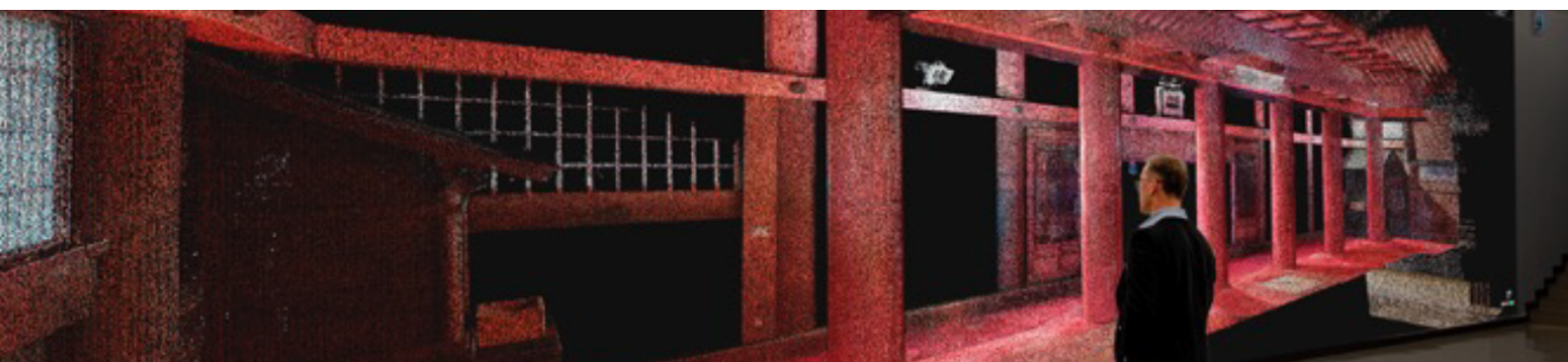
吉備津神社 国宝本殿・拝殿再建 600年+1 記念

「吉備津神社の“体験する”デザイン展」—国宝建築を“触れて・遊んで・学ぶ”体験型展示—

Plus
吉備津神社

吉備津神社の
体験する
デザイン展

KIBITSUJINJYA Experience Design



2026

観覧無料

7.14 火 — 19 日

9:00 ~ 17:00 (最終日は 16:00 まで)

岡山県天神山文化プラザ

〒700-0814 岡山県岡山市北区天神町 8-54

展示内容

合計 600 インチの映像体験 (点群データ展示)、原寸千木模型展示、建築木組み体験、原寸図面塗り絵、Minecraft による吉備津神社デジタル再建展示、もりのおまもりワークショップ、スタンプラリー 他

主催：吉備津神社・岡山県立大学デザイン学部

吉備津神社の
体験する
デザイン展

KIBITSUJINJYA Experience Design



吉備津神社（岡山市北区）と岡山県立大学デザイン学部は、国宝 吉備津神社 本殿・拝殿の再建 600 年+1 を記念し、「吉備津神社の“体験する”デザイン展」を 2026 年 7 月 14 日（火）～19 日（日）、天神山文化プラザ（岡山市北区）で開催します。本展は、高精度 LiDAR 計測データを活用した 600 インチ没入型映像、原寸大の千木模型展示、マイクラフトによる国宝建築のデジタル再現など、文化財とデジタル技術を融合した国宝建築の魅力を“見る”だけでなく、“触れる・くぐる・歩く・描く”といった五感を使った体験を通して楽しみながら学べる参加型のデザイン展です。岡山県立大学デザイン学部のビジュアルデザイン・工芸工業デザイン・建築の各領域が連携し、文化財の魅力を現代的なデザインの視点で再編集する新しい試みとなっています。子どもから大人まで幅広い世代が参加でき、日本の伝統建築や地域文化への関心を深めるとともに、これまでにない新たな価値の発信を目指します。

主な展示内容

● 600 インチの巨大スクリーンで“国宝を歩く”没入型映像展示

高精度 LiDAR 計測データをもとに、国宝 本殿・拝殿を 600 インチの大画面で再現した没入型映像を展開します。巨大な映像空間の中で、国宝建築の細部や空間構造をダイナミックに体験でき、通常は見ることのできない視点から国宝建築吉備津神社の細部を自由に鑑賞することが出来ます。

● 原寸大「千木」模型を使った体験型展示

神社建築を象徴する千木（ちぎ）を原寸サイズで再現。屋根上にあるため普段は見ることのできない千木を、間近で観察したり、下をくぐって体験できるプログラムです。

実際の大きさや存在感、構造の美しさを身体感覚で捉えることで、神社建築のスケールや技術を直感的に理解できます。

● マインクラフトで再現した「デジタル吉備津神社」

人気ゲーム「マイクラフト」の世界で国宝 吉備津神社本殿・拝殿を再現。岡山県立大学デザイン学部の学生が、高精度な点群データをもとに本殿・拝殿を忠実に再現。来場者は仮想空間を自由に歩き回り、現実では不可能な視点で国宝建築を探索できます。文化財のデジタルアーカイブ活用として注目されている取り組みです。

● 実寸図面の塗り絵体験

吉備津神社の実寸図面をもとにした巨大な塗り絵コーナーを展開。建築の構造や意匠を楽しみながら学べる、子供も大人も楽しめる体験型コンテンツです。

● スタンプラリー

展示会場を巡りながら楽しめるスタンプラリーを開催します。各ポイントでスタンプを集めるたびに、展示の見どころや物語が自然と理解できる仕掛けになっています。全て達成された方には、ここでしか手に入らないオリジナル記念品を進呈（先着 300 名様）。“学ぶ・歩く・集める”が一体となった、参加型の体験コンテンツです。

ワークショップ



● アップサイクル型ワークショップ「もりのおまもりづくり」

地域の間伐材を活用し、木の香りや質感を楽しみながら“おまもり”を制作。地域資源 × デザイン教育を体験できるワークショップです。7月18日・19日の13:00より1日3回開催



問い合わせ先

岡山県立大学 デザイン学部

高橋 電話：090-1900-3819 toshioimi_takahashi@dgn.oka-pu.ac.jp（ビジュアルデザイン学科）
島 hata@dgn.oka-pu.ac.jp（建築学科）

吉備津神社社務所（9:00～16:30）

電話：086-287-4111